

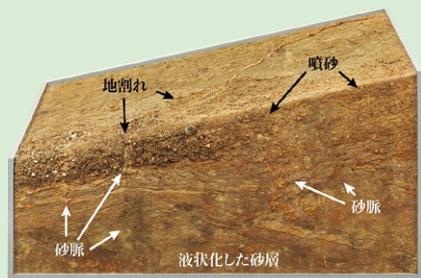
平城宮跡資料館「平城宮跡周辺でみつかった巨大地震の痕跡」

平城宮跡資料館の考古科学コーナーでは、奈良文化財研究所庁舎建て替えにともないおこなわれた平城第530次調査で遺跡から切り取った巨大地震の痕跡を展示しています。

発掘調査では、奈良の地が巨大地震によって何度も被災していたことを示す、地割れや液状化、それともなう噴砂や砂脈の痕跡が多く発見されています。よく奈良は、藤原京や平城京があったことから災害の少ない安全な土地であると言われてますが、展示している地震の痕跡は震度5弱以上の巨大地震によって引き起こされたと推定され、奈良の地もけっして安全とは言い難いように思えます。このような被災履歴を理解しておくことは、防災・減災に直接的に結びつくため、私たちの将来の生活を考える上でも大変重要な意味があります。

今後も奈文研の最新の研究成果を展示していきたいと思えます。

(埋蔵文化財センター 村田 泰輔／企画調整部 藤田 友香里)



切り取った地層の断面に残る巨大地震の痕跡

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで) 月曜休館(祝日の場合は翌平日)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/heiho/museum/> お問い合わせ：☎0742-30-6753(連携推進課)

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール koho_nabunken@nich.go.jp
発行年月 2020年3月